

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	病院実習 2
科目基礎情報				
開設学科	医療事務科	コース名		開設期 通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 90時間
単位数	3単位			授業形態 実習
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。			
担当教員情報				
担当教員	山下 恵子	実務経験の有無・職種	有・看護師、救命救急士	
学習目的				
<p>病院実習とは、学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジの病院実習は、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の病院人を育成することを目的とする。病院実習では、病院活動の一端に触れることにより、次の事項に関してなんらかの学習効果を期待する。1つ目に病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。2つ目に病院の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。3つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。</p>				
到達目標				
<p>在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の医療人を育成することを到達目標とする。具体的には、病院における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。病院の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。今後の学生生活で学んだことが活かせるように病院実習前に各自が目標を立ててから参加してほしい。</p>				
教育方法等				
授業概要	病院実習とは「就労体験」のことである。年度末（2月～3月）の期間を利用して病院実習を実施する。病院実習の期間は3週間が多い。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各病院で実施される。実習は受入先病院となる。最終的な評価については各病院の担当者の方に依頼する。			
注意点	病院実習開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、病院実習活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に参加すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、病院実習を中断する可能性があるため、やむを得ない事情がある場合は、受入先病院、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守って病院実習に参加すること。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題			
	小テスト			
	レポート			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実習期間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	50%	積極的な参加度、勤務態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	オリエンテーション	病院実習概要を理解でき、実習先病院のリサーチができる		
2回	挨拶	実習先病院に提出する書類（自己紹介書、誓約書）の作成ができ、病院に行って挨拶ができる		
3回	病院実習参加（1）	病院実習先病院で実習を行える		
4回	病院実習参加（2）	病院実習先病院で実習を行える		
5回	病院実習参加（3）	病院実習先病院で実習を行える		
6回	病院実習参加（4）	病院実習先病院で実習を行える		
7回	病院実習参加（5）	病院実習先病院で実習を行える		
8回	病院実習参加（6）	病院実習先病院で実習を行える		
9回	病院実習参加（7）	病院実習先病院で実習を行える		
10回	病院実習参加（8）	病院実習先病院で実習を行える		
11回	病院実習参加（9）	病院実習先病院で実習を行える		
12回	病院実習参加（10）	病院実習先病院で実習を行える		
13回	病院実習参加（11）	病院実習先病院で実習を行える		
14回	御礼状作成、成果報告準備	病院実習先病院の担当者にお礼状を送れ、病院実習の成果報告用の資料を作成できる		
15回	成果報告発表会	病院実習成果報告会で発表できる		